

追加説明資料①

- 1. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点 . . . p. 2
- 2. 対応方針（原案） p. 3

平成27年度建設事業評価

なんかいほんせん たかしのはません たかいしし
南海本線・高師 浜線(高石市)

れんぞくりったい こうさじぎょう
連続立体交差事業

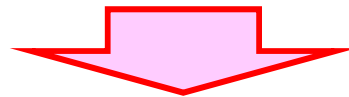
たかいしし
[高石市]

【再々評価】

再評価後5年経過

1. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- (旧)
- ・ 工事進捗は59%、用地は100%取得済みである。また、平成21年11月に南海本線
上り線、平成23年5月に南海本線下り線の仮線切替えを行い、平成28年春
の下り線高架切替に向け、鉄道工事は順調に進んでおり、代替案立案の余地
はない。



- (新)
- ・ 今後着手する上り線高架工事において、コンクリート構造物の取壊し等騒音振動が発生する工事については、騒音振動測定を再度実施し、その結果によっては、より経済的な対策工法で実施できることから、コスト縮減の可能性がある。一方、土壌汚染対策については、今後の汚染深度等の調査結果により、事業費増減の両方の可能性がある。
 - ・ 工事進捗は59%、用地は100%取得済みである。また、平成21年11月に南海本線
上り線、平成23年5月に南海本線下り線の仮線切替えを行い、平成28年春
の下り線高架切替に向け、鉄道工事は順調に進んでおり、代替案立案の余地
はない。

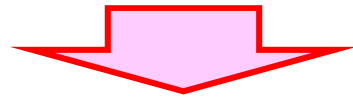
2. 対応方針（原案）

○事業継続

(旧)

<判断の理由>

- ・ 現在までの進捗は当初計画からは大幅に遅れているが、遅延要因が解消され、用地買収も100%完了しており、今後は計画通りの完成が見込まれている。踏切除却による踏切事故の解消、交通渋滞の緩和等、必要性にも変化はない。
 - ・ 事業費は当初計画時より大幅に増えているが、本事業を中止することによる影響に比べ、事業を継続することの効果が大いとい見込まれる。
- 以上の理由により、事業を継続する。



(新)

<判断の理由>

- ・ 現在までの進捗は当初計画からは大幅に遅れているが、遅延要因が解消され、用地買収も100%完了しており、今後は計画通りの完成が見込まれている。踏切除却による踏切事故の解消、交通渋滞の緩和等、必要性にも変化はない。
 - ・ 事業費は当初計画時より大幅に増えているが、本事業を中止することによる影響に比べ、事業を継続することの効果が大いとい見込まれる。
- 以上の理由により、事業を継続する。
- ・ ただし、本事業については、既に事業費が当初計画時より大幅に増加していることから、今後は、土壌汚染の深度等、事前に想定できない特段の事情がある場合を除き、これ以上の事業費の増加が無いよう最大限留意し、コスト縮減に努めて事業を進める。